

糖尿病と腎臓

医療法人 小金井中央病院
副院長 海野 鉄男

はじめに

糖尿病は、インスリンが不足し血糖値が上昇した結果、色々な合併症を起こす疾患です。少々血糖が高くても、特に自覚症状がなく病状が進行するため、放置したり不適切な治療を行ったりしていると、5年、10年と時間が経つうちに、深刻な合併症を引き起こすこととなります。

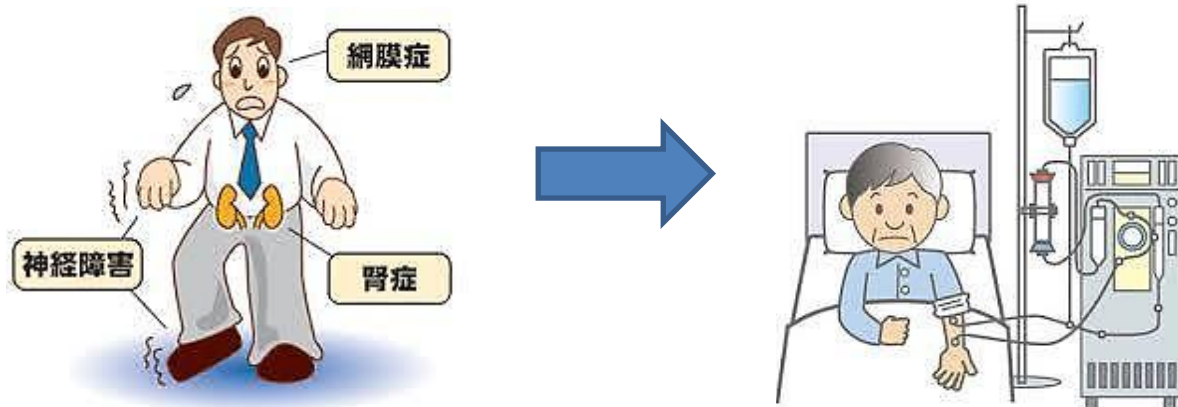


糖尿病の合併症のうち、腎臓が悪くなる疾患を「糖尿病性腎症」と呼びます。

腎臓は血液をろ過し、尿として排泄する重要な機能がありますが、腎症が進行し末期腎不全になると、この機能が低下してしまい、透析療法が必要となります。

経過と予後

糖尿病を発症してから末期腎不全に至るまでの経過は非常に長く、10~20年かかります。腎症の早期には微量アルブミン尿、その後蛋白尿が出現すると進行は極めて速くなり、2~5年で透析に至ります。糖尿病性腎症は現在、透析を始める原因として最も多い疾患です。



治療

早期に糖尿病性腎症の診断を受け、インスリン治療を含めた血糖管理を行うことが大切です。腎症の早期には厳密な血糖管理によって進展を遅らすことができますが、終末期では血糖管理による進行抑制は困難となるため、治療には早期診断が大切です。

また、高血圧合併例も多いため、降圧薬で血圧のコントロールを強化します。

むくみ（浮腫）に対しては、塩分制限や利尿薬を使用します。また、腎臓は糸球体と呼ばれる部位で血液をろ過しますが、糸球体過剰ろ過による腎機能悪化を防ぐ目的で、食事療法（蛋白制限）も行います。



おわりに

糖尿病性腎症は高血糖が最大の原因です。血糖を良好に保つことは、腎症の予防のうえでも大切です。

一方、腎臓は他の臓器同様、年齢とともに機能が弱まってきます。これに加えて、過食や高蛋白・高塩分の食事が腎機能低下要因として知られています。とり過ぎや塩辛いもの、肉などのタンパク質の摂り過ぎに日頃から注意しましょう。



サービス付き高齢者住宅

医療法人 小金井中央病院
介護付高齢者住宅ぬくもり
施設長 中山 千恵子

サービス付き高齢者住宅とは

「高齢者住まい法」の改正により創設された、介護・医療と連携し高齢者の安心を支えるサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。

『種類』

「一般型」と「介護型」の二種類あります。

一般型は、介護が必要になった時に、訪問介護など外部の在宅サービスを利用します。介護型は、厚生労働省の定める「特定施設」の指定を受けているところ（以下介護型）です。介護が必要になった時に建物内に常駐するスタッフから介護サービスを受けることができます。

（介護付き有料老人ホーム）



『生活支援サービス』

サービス付き高齢者住宅では、「一般型」と「介護型」ともに共通して受けられるサービスは「安否確認」と「生活相談」です。定期的に居室に伺い、困りごとや、介護や生活全般の相談に応じます。

『費用』

賃貸借契約になります。敷金（入居時）・家賃・管理費・食費、その他に介護保険の自己負担部分等の別途料金がかかります。料金設定は施設ごとに異なります。

『入居条件』

60歳以上の高齢者、あるいは要介護認定を受けた場合60歳未満の方でも相談により入居可能です。



介護付高齢者住宅ぬくもりについて

介護付高齢者住宅ぬくもりは、小金井中央病院直営のサービス付き高齢者住宅になります。病院の東側に近接しており「特定施設」の指定を受けた介護型になります。

特色1⇒目の前に建つ小金井中央病院と連携した医療サービスの提供

『職員体制』

施設内のスタッフは生活相談員・ケアマネジャー・看護師・機能訓練指導員・介護士の専門職が従事しています。夜間も介護専門スタッフが常駐しており、必要時には小金井中央病院と連携がとれる体制もできています。

特色2⇒介護専門スタッフが24時間365日常駐

『サービス内容』

食事・掃除・洗濯などの生活支援や健康面・リハビリ・入浴・食事・排泄などの身体面の支援を提供します。また、入居者の状況を共有し医療と連携を図りながら安心した日々が送れるよう支援している施設になります。



特色3⇒質の高い生活支援介護サービス

『料金』

家賃	維持管理費 生活支援費	食費	介護保険 (1割負担)	1ヶ月料金合計 (30日間)
54,000～ 57,000円	34,000円 20,000円	55,080円	6,408～ 26,459円	163,080～ 192,539円

